

音楽の都ウィーンで抜群の人気を誇る名門オーケストラ 優雅な響きが新年を彩る

ニューイヤー・コンサート2015

ウィーン・サロン・オーケストラ

New Year Concert 2015

Salomorchester All Wien



Udo Zwölfer

ウド・ツヴェルファー

(音楽芸術監督・コンサートマスター)



さら
やかに
華やかに
艶やかに

特別ゲスト:久元祐子

モーツァルト:ピアノ協奏曲第12番K414

J.シュトラウスII

オペレッタ「こうもり」より 序曲

オペレッタ「ジプシー男爵」より

ポルカ「トリッチ・トラッチ」

ワルツ「美しく青きドナウ」

F.レハール

オペレッタ「メリー・ウイドウ」より

A.カラス

映画『第三の男』よりテーマ

J.シュトラウスI

ラデツキー行進曲 ほか

2015年 **1月10日**(土) 14:00開演 (13:20開場)
東京オペラシティ コンサートホール

全席指定 Sペア席 10,000円 S席 6,000円 A席 5,000円

プレイガイド

東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999

チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:243-550]

ローソンチケット 0570-084-003 [Lコード:32506]

イー プラス eplus.jp

カンフェティ 0120-240-540 confetti-web.com

主催・チケット・お問合せ

プロアルテムジカ PRO ARTE MUSICA E

03-3943-6677

www.proarte.co.jp

※HPからの入会・お申込みで、

割引ポイントたまります。

■未就学児童入場不可。
■前日・前日が変更される可能性があります。
予めご了承ください。



ウィーン・サロン・オーケストラの本拠地、クアサロン

©K.Sakayori

後援: オーストリア大使館、日澳文化協会



久元祐子 (ピアノ) *Yuko Hisamoto*

知性と感性、繊細さとダイナミズムを兼ね備えているピアニストとして高い評価を受けている。これまで、読響、東京フィル、日本フィル、新日本フィル、神奈川フィル、札幌他のオーケストラや、ベルリン弦楽四重奏団、澤カルテット等とも共演。ヴァルター、ブレイエル、エラルなど歴史的楽器を用いたコンサートにも数多く出演。2010年ショパン生誕200年に軽井沢・大賀ホールにて天皇后陛下ご臨席の下、御前演奏を行う。2011年ウィーンのベーゼンドルファーザールにおけるリサイタルは絶賛され、オーストリアのピアノ専門誌「ヴァインベルガー」の表紙を飾る。2012年、2014年イタリア・ロヴェレート国際モーツァルト音楽祭に招かれリサイタルを開催。CD10作をリリースし、《ハイドンとモーツァルト》(コジマ録音)は、毎日新聞CD選に選ばれる。演奏経験をもとに、「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)など数多くの著作も出版。また、音楽を多面的にとらえることをめざし、レクチャーをまじえたレクチャー・リサイタルにとりくみ、朝日新聞天声人語でも紹介される。東京藝術大学音楽学部器楽科(ピアノ専攻)を経て、同大学大学院修士課程を修了。現在、国立音楽大学准教授として後進の指導にあたっている。

<http://www.yuko-hisamoto.jp/>

ウィーン・サロン・オーケストラ *Salonorchester Alt Wien*

1994年ウド・ツヴェルファーのもとウィーン・フォルクスオーパー管弦楽団のメンバーらにより結成された。世界中からウィーンを訪れる人々に本物のウィーン音楽を、本場の雰囲気、一流の音楽家たちによる演奏で提供しようとの狙いのもと設立。

レパートリーは、ウィーンを代表する作曲家であるヨーゼフ・ランナー、シュトラウス一家、カレル・コムザーク、カール・ミヒャエル・チーラー、フリッツ・クライスラー、エメリヒ・カールマン、フランツ・レハール、ロベルト・シュトルツなどの、序曲、ワルツ、ポルカやマーチ。またヨハン・シュトラウスⅡの代表的なオペレッタ「こうもり」、「ジプシー男爵」、「ヴェネツィアの一夜」、「ウィーン気質」、レハール「メリー・ウイドウ」、カールマン「チャールダーシュの女王」、「伯爵令嬢マリツァ」、カール・ツェラー「小鳥売り」、ミレッカー「乞食学生」、「ガスパローネ」などからの有名なアリアやデュオなど、非常に幅広い。

ウィーンの前伝統音楽の継承にも力を注ぐ一方で、アルバート・ウィリアム・ケテルビー、ルロイ・アンダーソンなど新しい作曲家の作品も意欲的に取り上げている。主なレパートリーは19世紀初頭

の前伝統音楽にしっかり根ざしている中で、聴衆が求めるプログラムには柔軟に対応。ミュージカル、映画音楽、ダンス音楽、民族音楽などプログラムは多岐にわたる。

ランナーやヨハン・シュトラウスの伝統を継承し、ウド・ツヴェルファーがヴァイオリンと指揮の弾き振りするスタイル。演奏者同士の緊密なコミュニケーションと楽しげな演奏スタイルは、聴衆をも幸せに満たすような抜群の雰囲気でもホールを包み込む。

ウィーン楽友協会ホールの他、ホーフブルク宮殿ホール、国立図書館ホール、ウィーン証券取引所祝祭ホールなど、ウィーン各地でコンサートを開催。1998年以降、ウィーンにおいて年間300回を超えるコンサートを開催するなど、抜群の人気を誇っている。

2001年由緒ある「ウィーン・クアサロン」がリニューアル。ウィーン・サロン・オーケストラは、ヨハン&エドゥアルト・シュトラウス、フランツ・レハール、ニコ・ドスタルなどが演奏を行ってきたこの伝統のホールを拠点とし、聴衆、批評家たちから圧倒的な支持を得ている。2001年、2002年、2004年、2006年に日本ツアーを行い、2004年には、中国、またカリフォルニア・ロング・ビーチでも公演を行い、大好評を博す。



ウド・ツヴェルファー (音楽芸術監督・コンサートマスター) *Udo Zwölfer*

ウィーン生まれ。ウィーン国立アカデミー(現ウィーン国立音楽大学)、及びウィーン市立音楽院(現ウィーン・コンセルヴァトリウム私立音楽大学)に学ぶ。在学中より、ウィーンをはじめ、多くの著名な芸術家たちと数多くの演奏活動を行い、フランス、イタリア、チェコ、クロアチア、韓国、台湾、中国、アメリカ、日本等への演奏ツアー等、精力的に活躍している。1980年に、ウィーン・フォルクスオーパー管弦楽団の第1コンサートマスターに就任。1994年、ウィーン・フォルクスオーパー管弦楽団所属のオーケストラ奏者で構成された、「ウィーン・サロン・オーケストラ」を設立。1999年には、ウィーン・クアサロン(かつてヨハン・シュトラウスⅡが自ら演奏し活躍した、ウィーンに於ける彼の本拠地であった歴史的施設)の現支配人であるS.スズニャーラとオーケストラのコーポレーション契約を交わし、同オーケストラの演奏活動を本格的にスタートさせた。ツヴェルファーは、初代音楽芸術監督に就任、同時にコンサートマスターとしてオーケストラを率い、現在までに、オーストリア国内外にて4000公演以上のコンサートを成功させている。

使用楽器は、1774年のイタリア・ナポリ製、トマソ・エーバレ社のヴァイオリンである。

公演スケジュール

- 1月 9日(金) 19:00 川口総合文化センターリリア 音楽ホール
- 1月10日(土) 14:00 東京オペラシティコンサートホール 特別ゲスト:久元祐子(ピアノ)
- 1月10日(土) 19:00 東京オペラシティコンサートホール 特別ゲスト:田代万里生(テノール)
- 1月11日(日) 14:00 ミューザ川崎シンフォニーホール 共演:熊谷有梨バレークラス
- 1月11日(日) 18:00 ミューザ川崎シンフォニーホール 共演:熊谷有梨バレークラス

全席指定

Sペア10,000円 S6,000円 A5,000円

主催チケットお問合せ

プロアルテムジク *PRO ARTE MUSICAE*

TEL.03-3943-6677 www.proarte.co.jp

※HPからの入会・お申込みで、割引ポイントたまります。